

オンリーワン補修モルタル 施工方法

下地清掃と不陸調整



下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等を研磨機または高圧洗浄機を用いて研磨除去して健全なコンクリート面を露出させてください。

* 補修モルタルは設定塗厚が3~20mmですので、3mm以上の塗厚を確保するように留意してください。

下地乾燥後、不陸調整が必要な部分に専用シーラーを刷毛やウールローラーで塗布し、以下に記したモルタルを用いて不陸調整をおこなってください。

不陸調整厚5mm以下の場合：補修モルタル

* 補修モルタルの塗厚が異なる場合、押えムラ・色ムラが発生しますので塗厚が均一となる様にしてください。

下地処理（吸水防止材塗布）



不陸調整材の硬化後、全面に専用のシーラーを刷毛ウールローラーでむらなく塗布してください。

* 吸水の激しい下地の場合は、ドライアウトの原因となりますので、むらなく丁寧に塗布してください。

混練り



補修モルタル20kgに対し水約3kgと混和液1kgを加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等で十分に練り混ぜてください。

* 強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

塗付け



コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください仕上げは金ごて仕上げ、刷毛引き等をおこなってください。

* 浮きや割れの原因となりますので、

* 1回の塗厚は、標準仕様の塗厚を厳守してください。



* コテ押え仕上げは、適度なしまり加減（30分~1時間後）で、適度に水打ちしてからステンレスゴテで平滑に押え仕上げをしてください。

養生

降雨・強風あるいは周辺の他の作業により塗付け作業に支障をきたすおそれがある場合は作業を中止してください。

* 通風や日光によりドライアウトが予想される場合は散水養生をおこなってください。

* 白華や水溜りによる染みの原因となりますので、開放までは夏季7日、冬季14日以上養生をとり、降雨・降雪等があたらないようにしてください。

使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。